
取り合い

minimum

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

取り合い

【コード】

N1865H

【作者名】

minimum

【あらすじ】

灰原哀を巡る熱いバトル！！果たして勝者は…？ ギャグです。

初めて書きました…。

(前書き)

蘭 哀 ことなっております。ご注意ください。

「灰原は僕と一緒に出かけるのっ!!」

「ダメよ。今日は私と一緒に遊ぶんだから。ねっ? 哀ちゃん。」

ここは毛利探偵事務所。

一人の少女を巡って熱いバトル(姉弟ゲンカ?)が、既に1時間以上繰り広げられていた。

このバトルの中心人物であるはずの哀は、二人の仲裁をとつくの昔に放棄しており、今は事務所のソファで一人静かに読書をしている。

「大体灰原は、僕と出かける為にここに来たんだよ。横取りなんてずるいよ! 蘭姉ちゃん!」

「いいじゃない。コナン君は学校でも一緒にいられるでしょ? 今日の一日くらい、哀ちゃんを譲ってよ。」

「だーめっ! 灰原は僕のものなの。こればかりは蘭姉ちゃんにも譲れないよ。」

「案外、コナン君では懐が狭いのねえ。」

「いいの。灰原のことは別なのっ。」

…どうでもいいけど、私はいつから江戸川君のものになったのかしら?

譲るとか譲らないとか、私はモノじゃないんだけど…。

「コナン君がそこまで言うなら実力行使よ。さ、哀ちゃん。コナン君なんてほっというて、私と一緒に遊びましょー」

蘭はそう言うと、哀の小さな身体をひよいと抱き上げた。

「ああ、っつ！蘭姉ちゃん！！！」

中身は高校生であるはずのコナンは、そんなプライドも忘れて必死に手を伸ばしながらピョンピョン飛び上がる。

しかし、悲しいかな今は小学1年生の身体。蘭が哀を更に上へと抱き上げれば、コナンのわずかな抵抗も届かない。

「ん〜っ！哀ちゃんカワイイ」と、蘭は哀に頬をすりすり…。

「あーっ！ダメ　！！」僕だってまだしたことないのに！と地団駄を踏む、一応中身は名探偵。

…したことはないって、するつもりだったの？

聞かなかったことにしようと、いともあっさりと右から左へ聞き流す哀。

というか、こんなに必死な江戸川君も面白いわね。

またからかうネタが増えたわ…とほくそ笑んでいる哀の耳に、聞き慣れた着信音が流れてきた。

「あれ？電話？」

「灰原の携帯か？」

「ええ、そうよ。蘭さんごめんなさい。下してもらえますか？」

あ、うん…と、少々名残惜しそうに床へと哀を下ろす。哀はソファに置きっぱなしのバッグから、携帯を取り出した。着信相手を見ると、そこには『吉田歩美』の文字。

「もしもし、吉田さん？」

『あ、哀ちゃん？あのね、うちのお母さんがケーキ焼いてくれたの。良かったら食べに来ない？あ、コナン君達には内緒だよ。そんなにたくさんあるわけじゃないから。』

「あら、いいわね。それじゃお邪魔しようかしら。」

『うん、待つてるねー！』

じゃあ後でね、といって通話を切る。電話の内容が気になって哀の真横で耳を澄ましていた蘭とコナンにも、十分にその内容は聞き取れていた。

「は、灰原…？」

「あ、いちゃん？」

固まる二人を横目に、哀は涼しい顔をして言い放った。

「…というわけだから、じゃあね。」

……勝者、吉田歩美。

(後書き)

妄想全開(笑)

思いつきで30分ほどで書き上げました。ス、スミマセン…。
連載執筆の気晴らしになりました。
また書こうかな…？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1865h/>

取り合い

2010年11月28日03時43分発行